

競 技 注 意 事 項

1. 規 則

本大会は、2019年度日本陸連競技規則ならびに大会要項に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

2. 練習について

- (1) **走・跳競技**は、陸上競技場西側の多目的グラウンドの東端、または、バックストレート側を使用する。
ジャベリックボール投げは、陸上競技場西側の多目的グラウンドの東端を使用する。
- (2) 全て練習は、審判員及び係の指示によって行うものとするが、監督又は引率責任者、競技者も危険防止を十分留意し練習を行うこと。

3. 競技者の招集について

- (1) 競技者は、競技に出られる服装（ナンバーカードを付けた状態）で、招集時刻開始時刻までに競技者控え所に集合し、競技者係の点呼とユニフォームナンバーカードの確認を受け待機する。
※招集に遅れた場合は棄権とみなすので、十分気をつけること。
- (2) トラック競技は、招集所で腰ナンバーカードを受け取り、右腰やや後方に付ける。
招集時刻は、競技日程の欄のとおりとする。時間は、競技開始時刻を規準とする。

種 目	ラウンド	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	予 選	30分前	20分前
	決 勝	30分前	15分前
フィールド競技		60分前	40分前

4. 入場について

競技者は、招集完了と同時に係員の指示に従い競技場に入場し、競技終了後も指示に従い、規律ある行動をとること。

5. 走路順について

- (1) 100m、80mハードル、4×100mリレーの走路順は、プログラム記載のレーン番号とする。
- (2) 決勝の走路順は、本部で抽選し招集所及び記録掲示板に掲示する。

6. 4×100mRのオーダー提出について

リレーオーダー用紙は、6枚綴りを作成し、競技開始1時間前に招集所競技者係に提出する。
(リレーオーダー用紙は、招集所に用意する。) ※予選も提出すること。

7. 競技方法について

- (1) スパイクは、9mm以下の平行ピンとする。ただし、走高跳、ジャベリックボール投は、12mm以下とする。
- (2) 素足での競技は、禁止する。(夏季のオールウェザー走路は、火傷の危険があるため。)
- (3) トラック競技におけるフライング失格については、旧来のルールを適用し、同一人が2回不正スタートをした場合、失格とする。
- (4) スタートは、クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートでもよい。
※**スタート時の合図は、イングリッシュコール**とする。
- (5) **混合リレー競技は男女各3名までのエントリー**とし、**競技は男女各2名で行い、走順は自由**とする。
テイクオーバーゾーンは、30mとする。
- (6) コンバインド(混成競技)Aは、**80mH・走高跳の2種目**とし、**記録を点数化して順位を決定**する。
○80mハードルは、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからフィニッシュ11m、ハードルの高さ70cm、台数9台とする。

○走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへの着地は足裏からとし、背や腰からの着地は無効試技とする。【バーの上げ方は次のとおりとする。】※2回続けて失敗した時点で競技終了とする。

男子(練習1m05)	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以降3cm
女子(練習1m05)	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	—	以降3cm

(7) コンバインド(混成競技)Bは、**走幅跳・ジャベリックボール投の2種目**とし、**記録を点数化して順位を決定**する。それぞれの種目の**試技は、2回**とする。

○ジャベリックボール投はやり投げピットを使用し、助走は15m以内とする。

(8) 100m、4×100mR、予選は、タイムレースとして、上位8チーム、8名を決勝に進出させる。オープン種目男女1000mは、タイムレースにより順位を決定する。

8. 表彰について

1位、2位、3位に、日清食品賞として、金、銀、銅メダルと賞状を授与し、表彰を行う。(オープン1000mは、栃木陸協より、金、銀、銅メダルと賞状を授与する。)4位～8位までは、賞状を随時渡す。

9. 全国大会の選手団編成並びに参加資格について

種別	種目	選手	指導者
リレー	男女混合 4×100m	男子3名 女子3名	
単独種目 (8種目)	男子 6年 100m	1名	総監督を含む 指導者3名 (支援コーチ :最大4名) ※支援コーチの 旅費等は、自己負 担での参加
	女子 6年 100m	1名	
	男子 5年 100m	1名	
	女子 5年 100m	1名	
	男子コンバインド(混成競技)A (80mH・走高跳)	1名	
	男子コンバインド(混成競技)B (走幅跳・ジャベリックボール投)	1名	
	女子コンバインド(混成競技)A (80mH・走高跳)	1名	
	女子コンバインド(混成競技)B (走幅跳・ジャベリックボール投)	1名	
		14名	3名+4名

- (1) 選手は、小学校5・6年生の年齢に該当する児童。
- (2) 指導者は、出場するリレーチーム及び単独種目のそれぞれの担当者。
- (3) 総監督は、選手団の都道府県陸上競技協会が推薦する指導者。
- (4) 選手選考は、本要項の段階を経ること。
- (5) 本大会出場にあたっては、〇〇小学校といった名称を使用しての出場も認められる。(30回大会より)
- (6) リレーチームの編成は、各都道府県選考会に参加した時点で編成されたチームである。
- (7) 同一人が2種目を兼ねて出場することはできない。(リレーも1種目とする)

10. その他

- (1) 医務室は、スタンド下に置く。
- (2) 開会式については、別に指示する。
- (3) 選手の服装は、見苦しくないように注意する。
- (4) 更衣については、男女とも、スタンド下の更衣室を使用する。
- (5) 盗難防止には、各自十分留意する。